

開催概要

- 日時：令和6年3月11日（月）
- 書面形式による開催

議事内容

- 「流域治水プロジェクト2.0」（案）について
- 「自分事化に向けた取組」（案）について

議事概要

○ 「流域治水プロジェクト2.0」（案）について

- ・ 気候変動の影響により2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が約1.2倍、洪水発生頻度が2倍に増加すると見込まれている。このことを踏まえ、流域治水の取組みを更に加速化・深化させるため、大淀川水系において気候変動を踏まえた対策の方針を反映した「流域治水プロジェクト2.0」を策定。
- ・ 「流域治水の具体的な取組」において、令和6年3月に各指標の時点更新を実施したことによる数値の更新を行った。

○ 「自分事化に向けた取組」（案）について

- ・ 住民や企業などが自らの水害リスクを認識し、自分事として捉え、主体的に行動することに加え、さらに視野を広げて、流域全体の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させることで、流域治水の取組みを推進することを目的として、流域治水の取組内容をわかりやすく見える化した「自分事化に向けた取組」を作成。
- ・ 令和5年度の取組計画についてフォローアップを作成。令和6年度の取組予定については、取組計画、ロードマップを作成。

■ 議事の結果、「流域治水プロジェクト2.0」（案）と「自分事化に向けた取組」（案）について承認されたものとする。